

討をお願いしたいと思います。

若干時間があるんですが、これで質問を終わります。ありがとうございました。

## 今泉春江委員の総括質疑

○安部 隆委員長 次に、順位5番、議席番号4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 日本共産党の今泉春江でございます。本日、最後かと思いましたが、休憩前の、質問となりました。お疲れですが、よろしく願いいたします。

通告してあります大きい2点について質問いたします。過日の一般質問でも私が質問しておりますが、時間もなく、お聞きできなかったこともありましたので、また質問いたします。よろしく願いいたします。

一つ目の地域経済活性、雇用創出について質問いたします。

まずその一つ目の市民の切実な願いを実現してこそ市は活性化するのではないかとことです。市長は、一般質問の梅津議員の答弁でも、困っている市民がたくさんいます、雇用の要望を提案してくださいと、正面から討論してくださいとお話されております。私は、介護や福祉サービス向上と合わせた雇用の創出について過日提案いたしました。私は、地域の経済活性はまず雇用だと強く思います。その雇用の創出は、市民の切実な願いを実現してこそ市は活性化するのではないかと思います。市長、いかがでしょうか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 そのとおりだと思います。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 そこで、私は一般質問で雇用の創出ということで、特別養護老人ホーム

への入所希望者、現在137人の待機者がおります。これを解消し、市民が願っている切実な願いがここにあります。そして、これを解消し、その中で雇用も創出するという特別養護老人ホームの建設を提案いたしました。また、認可保育園建設ということで、子育ての方々の認可保育園入所希望、そして希望する認可保育園に入れない待機児童の解消、それにより今度母親たちの仕事への復帰、また建設により保育園での保育士さんなどの雇用などで具体的な試算をし、提案いたしました。これも市民の切実な願いと思いますが、いかがでしょうか、市長。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 一般質問でもお答えしましたように、今泉委員がおっしゃることはごもっともだと思います。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 そこで、再度お聞きします。

市は市民の雇用創出の取り組みということで、一般質問でも市長が答弁なされておりますが、この雇用創出の取り組みがどのように進んでおられるか、お伺いしたいと思います。進みぐあいをお聞かせください。

まず、企業誘致は難しいと市長はおっしゃっております。事実、去年は製造業2社で5人ということでした。現在の中小企業の既存の300社の現状はどうなっておりますでしょうか、お伺いいたします。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 まず、私のほうで、行政でございますので直接雇用は別として、やはり産業の振興なり、さまざまな地域の活性化を図っていく中で、それぞれ民間の企業の皆様あるいは事業所、または自分でいろいろ業をなさる方、そういった方々に雇用を守り、創出してもらうためのお手伝いをするということが私どもの仕事でありますので、そういった意味では、計画が

どうなって、現在どうですかというようなことはちょっと当たらないのかなと、私どもが直接雇用するわけではございませんので、それはできるだけ有効求人倍率等々上がるようなさまざまなお手伝いをさせていただくことは必要だと思いますけれども、何人雇用する目標で、何人今実現してますかなんていうことは、私ども行政では残念ながら、もしかしたら国とかではできる部分かもしれませんが、私ども地方自治体ではなかなか難しい課題ではないかなと思います。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 今、市長は、私どもは中身まで把握できないとおっしゃっておりますが、長井市の現状を知るためにも、やっぱり受注拡大とも市長おっしゃってますので、そういう受注がふえてるのか減ってるのか、どのくらいふやすのか、見通しはあるのかなどとそういうものをちゃんと把握すべきではないのでしょうか。私たちは経営者でないから中身までわからないというようなことは、何か前の答弁なんかとはちょっと違うんじゃないでしょうかね、市長、いかがですか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 各企業の業績等々については、ある程度企業側から情報いただいたりしてわかっておりますが、企業それぞれでございます。ただ、一つ言えることは、大変ヨーロッパの政治不安あるいは金融等々の不安などから、ユーロは一時また戻りましたが、やはり円高傾向は変わっておりません、ドルに対しても。また、国内のデフレ等についても相変わらず変わってないわけでございますので、これらについて企業はそれぞれでございます。すべての企業の業績を把握するというはなかなか難しいと思いますし、概況はある程度把握しています。しかし、それはあくまでも何も調査してるわけじゃなくて、企業さんからお聞きしながら、必

要な場合はいろいろ教えてくださいと、支援はさせていただきますということでありまして、行政として無責任だと言われても、それはまた別の観点じゃないかなというふうに私は思っております。日本共産党さんは全部把握しておられるかどうかわかりませんが、市役所が全部それをわかってなきゃいけないとかということとはちょっと筋違いではないかなあと、むしろ共産党さんで把握していて、こうこうこういう業界が大変だから、市はこういったところをもっとやったらいいんじゃないかということをもっとご指導いただければ、ご提言いただければと思います。残念ながら、市内のすべての事業所、製造業に限らず、それを把握することはなかなか難しいことだと思います。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 ちょっと市長の答弁はがっかりしました。そういうことでありましたなら、共産党としても市内の企業のいろんな調査などをお話などをお聞きして、さらにまた別の機会に市長にご提案申し上げたり、お話ししたりさせていただきたいと思います。でも、長井市として商工会議所も含め、市内の企業の状況をしっかりと把握するというは、長井市活性化についてもやっぱり大切なことじゃないかとすごく思いますけれども、ちょっとがっかりするような答弁でございました。

そういうふうにおっしゃるのですから、そういう状況の中、私は一般質問で提案いたしました。例えば、私の提案によって雇用がどのくらいふえるか、大体100人弱、90何人と私は試算いたしました。そして、運営費などでも国、県の補助もあり、地元には大きな経済効果を生むのではないかなあと私は思います。そういうところで、そして特老も含め、認可保育園も含め、そのように試算いたしました。企業はわからないとおっしゃるのであれば、こういうような提案はいかがでしょう、もう一度お聞きいたし

ます。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今泉委員のご質問の趣旨がよくわからないのですが、私に先ほど質問されたのは、市内のこういった業種の状況を知りたいわけですか、それとも雇用の状況とかそういったところでしょうか。概況はもちろんある程度は把握しております。しかし、例えば製造業の仮に300社ぐらいあるとしたら、どここの企業がどういう状況でどうだということは個別にはなかなか把握しておりませんと、把握できる立場にもございませんという話をしているわけでありまして、厳しい状況のことは、今泉委員がおっしゃったように厳しいということは今までも申し上げてるわけでありまして、質問されておられることが、ちょっとどういうふうにお答えしたらいいかわかりませんので、お教えをいただければと思います。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 細かく1社1社というように質問したのではなくて、市長が受注拡大とおっしゃってますので、その受注拡大というのがどういう状況になっているのかを、今言った大まかなところでどうなのかというようなお考えをお聞きしたかったんでございます。1社1社とは申しませんが、300社もあるんですから、市内に、ですけども、例えば製造業ではどうだと、こういう商工会議所あたりでもいろいろ、きのう商工会議所を出してる広報が参りました、それを見ても製造業、サービス業といういろいろ書いてありました。そういう大まかなことで結構です、そういうお答えをいただきましたかったんですが、わかりませんというようなことで、じゃあ雇用というのはどういうふうにお考えになってるのかなあと思ったら、ちょっとがっかりいたしました。いかがですか、市長。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 私の知ってる範囲で答えさせて

いただきたいと思います。

まず、製造業のほうの受注拡大につきましては、24年度に特に行っておりますのは、23年度から引き続き地元の企業がしっかりとした営業活動できるように、あるいは自社の強み、弱みを生かしてこういった部分を会社として伸ばしていくのかということの経営、マネジメントについての指導を、これはトヨタ系の企業の子会社さんの専務をされた方をお願いして、個別に月1回ぐらいそれぞれの企業にお回りしながら指導をして、受注を拡大できるような、まず会社にする、あるいはそういった経営者、マネジメントを学んでいただくということを中心に行っております。結果として、その事業はある程度人材育成ということでやっておりますので、受注拡大には間接的にかかわるものではございますが、現在のところ直接的には商談会等にはこれは結びついておりません。

一方で、昨年まで行っておりました産業振興コーディネーターの方からのいろんな情報で商談会等々を行っております。また、長井市出身の方のさまざまな縁故をお願いして、トヨタ系の企業の仕事を受注していただいているところがさらにふえてはおります。

一方で、さまざまな海外の業績不振から、ちょっと会社の縮小を余儀なくされているような企業などもございます。これは製造業のほうはそれぞれ取引先がいろいろでございますので、一つ一つお話ししますと非常に時間がかかりますので、概して堅調ではありますが決して上向きな方向では現在ないと。ただし、今後、トヨタ東北としてセントラル自動車とか、あるいは関東自動車等々が合併して新たな生産拠点ができてまいりますので、それで受注拡大のチャンスがあるだろうというふうには考えて、いろんな側面から商工会議所と一緒に協力してるところです。

あと、サービス業とか商店街等々につきまし

ては、今泉議員もご存じだと思いますが、なかなか消費の低迷が続いておりまして、決して景気はよくないという状況でございますが、とりたててどここのお店が相次いで閉鎖するとか、そういった状況でもありませんので、まずはどういうふうにしてイベント等、お祭り等で需要を喚起していくかということをして市で協力することだと思っております。

農業等々もいろいろあるとは思いますが、農業等についてはやっぱり新規就農についての支援体制を少し私ども長井市は遅れておりますので、それらについて農協あるいは県の農業技術普及課等々と連携を図りながら、その体制を構築していかなければならないと。そういった中で、就農者を今後5年以内に、やはりチャンスでございますので、相当ふやせるように努力してまいりたいと思っております。

ちょっと不十分ですが、そんなことで現状把握と今後の考え方ということで答弁いたしました。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 そのような答弁をいただければがっかりもしなかったと思います。この間の一般質問でもそのようにお答えいただいて、重なる部分もありますけども、現状はこうだということをおっしゃっていただければ、頑張っただけでらっしゃるんだなあ、市もいろいろ考えてるんだなあという認識もしたところでしたけども、ちょっと先ほどは、何回も言いますが、がっかりいたしました。

そんな中、雇用というか、サービス業も含めて大変やっぱり厳しい状況にあるということが現実だと思います。そこで、私が一番思いますのは、特老への入所希望待機者が137人おられるわけですね。この人たちは大変施設に入れなくて困っております。自宅で介護したり、またそのつなぎで別な施設に入ったりして待っております。どうしたらよいのでしょうか、この

人たちはいつまで待てばよいのでしょうか、いつ解決するのでしょうか、解決するのでしょうか、お聞かせください。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 一般質問のときにもお答えいたしました。まずは小規模ではございますが、29床の特老を開設準備していらっしゃるところでございますので、その部分についてはいささか改善できると思います。また、長井市の場合は、今回の第5期の介護保険事業計画の中ではそれ以外の特老は計画しておりませんが、飯豊町、白鷹町のほうで同じように計画しておりますので、137名の待機者というのはダブりの部分はかなり厳選してるかとは思いますが、他市町からいらしてる方もいらっしゃいますし、また今市内の特老に入っている方が地元の特老に入れるということで移られるケースも想定されますので、最終的にどれぐらいまで減少できるかわかりませんが、これは大変残念なことではあります。待機がゼロになるということはほとんどないんじゃないかと、常にやはり高齢者はどんどんふえてまいりますので、できるだけ少しは待機していただかなきゃいけない場合もあるかもしれませんが、やがては入れるような施設づくりを目指していかなくちゃいけないと思いますが、一般質問でもお答えしましたように、介護保険が大幅に上がるということも勘案しながら、市民の皆様からご理解いただけるやっぱり規模といいますか、今でも長井市は施設整備率は県内でも上位でございますので、5位以内に入っておりますので、それをさらに保険料を上げて1位にするということだけが果たしていいのかどうか、その辺などもぜひ議会の皆様からのご意見もいただきながら、決めていかなくちゃいけないことではないかと思っております。

○安部 隆委員長 ここで暫時休憩いたします。再開は3時20分といたします。

午後 2時59分 休憩

午後 3時20分 再開

○安部 隆委員長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

今泉春江委員の質疑を続行いたします。

4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 ちょっと休憩が入りましたので、ちょっと何かテンションが下がってしまったような気がします。

先ほど市長から29床もこれから計画されてるというお話でした。この29床ですが、リバーヒルさんで地域密着型小規模特老ということで計画されておりますが、もう土地とかそういう計画ははっきり決まったんでしょうか、お聞きします。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今、準備を進めてるところではっきりは私のほうでは把握しておりませんので、状況についてでしたら、福祉生活あんしん課長のほうから簡単に答弁いたさせます。

○安部 隆委員長 小泉良一福祉生活あんしん課長。

○小泉良一福祉生活あんしん課長 答えいたします。

まだ決まっておらないことでございます。県の発電所の事務所を購入をして進めるということでございますが、なかなか契約のほうで、価格が折り合わないでいるところがございます。まだ決まっておりません。以上でございます。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 この29床も予定はあるんですけども、なかなか進んでないということなので、やっぱり待っていらっしゃる方がたく

さんいるわけですので、早くというか、進めていただきたいなあと思いますけども、何しろ、いろいろ準備というか難しいところがあるようにお聞きしております。ですので、本当にこの長井市の137人という方、待ってるんですよ。

そして、ますます先ほど市長もおっしゃったように高齢者はふえます。ますます待機者というのはふえます。待っててくださいと、待機ゼロにはならないと市長もおっしゃってますけども、飯豊町、白鷹町で計画してるから長井市では整備しないとおっしゃいました。この長井市で待ってらっしゃる方、先ほどいつまで待ってればいいのですかと、待ってる間に死んでしまいますよと、死ぬまで待ってればいいんですかと、本当にそういう気持ちで皆さんおうちで介護なさったり、ちょっとその間に施設に入れたりして頑張っていらっしゃいます。本当にこの高齢者の問題というのはこれから待たなしとありますが、これを市長は認識していらっしゃいますか、いかがですか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 長井市の4月1日の65歳以上の方っていうのは8,610名いらっしゃいます。高齢化率は29.7%でございます。うち約1,500名が介護を必要とされる方でございます。その中で今後、高齢者の方がどんどんふえていくということから、先ほども申し上げましたように、今泉委員もそういうふうには思っていらっしゃるんですけども、もちろん私もいろんな方からお話をお伺いしてますし、さまざまな介護等でも特老に入りたいと、特老はやはり経費的にもかなり助かりますので、施設介護を望む方はだれでもご希望されると思います。

ただ、本当に特老を希望されるっていう方は、ほとんど寝たきりで何もできないという方でありますので、その間、ご家族をはじめ、ご本人も大変なご苦労があるかと思いますが、しかし、待機をゼロということを目標で頑張っていきま

すが、先ほど申しあげましたように、じゃ、それをゼロを目指してどんどんつくっていくということが果たして可能かどうかといった場合、現在の介護保険の制度上かなりな負担が介護保険料を支払っている方に行く制度でありますので、そのところは今泉委員おっしゃるのはよくわかりますけれども、やっぱりもう少し冷静にどうしたらいいかという方向で考えなきゃいけないと思います。

ですから、状況はもちろん把握はしておりますし、多分、仮に200床、300床ふやしたとしても、いずれまた待機をされる方が出てくるんだろうということだと思いますので、同時並行として、いかに健康で自立をして介護に頼らずに介護保険を受けずに生きがいを持って健やかに暮らしていただけるかという部分も力を入れていかなきゃいけないというふうに思っております。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 確かに市長のおっしゃるように将来的にはもっとふやしたいと、200床、300床ふやしてもまたふえると。先ほど私も言ったように年寄り、お年寄りというか高齢者ですね、ますますふえる状況にあります。寝たきりの方もさらにふえるかと思えます。やっぱりそのためにも今、市長のおっしゃったように介護予防というか、そういうものにも市として大きく力を入れていただきたいと思えます。確かに介護予防で歩けなかったのが歩けるようになったなんていう方もいらっしゃいますから、ぜひそこは力を入れていただきたいところです。それでまず、私はそういう市民の切実な願いを実行する、実現するということが住民本位の行政の実現ではないかなあと考えて、このたび一般質問でもして今回の総括でもお話し申し上げてるところです。

それで、この間の一般質問では長井市では無理だと、保険料も上がると、確かに介護保険料

なんかにも返ってきますので。ですから、これは大もとの国の政策に大きな間違いとっちゃあれですけど、やっぱり大きな原因があるのではないかと思います。国のやり方に対して市町村が、地方自治体が市民、町民を守るために、国にしっかり物を言うということが大事かと思えます。しかし、国がそれをやるまで待つのではなくて、長井市なら、長井市でそれを待つのではなくて、長井市でやれることはすべきではないかなと、本当にできないのか、やれることはあるんじゃないかと。そこを強く申し上げたいと思います。いかがでしょうか、市長。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今泉委員がおっしゃる、やれることっていうことは、一般質問でおっしゃった市で直営でやるべきだということでしょうか。その辺のところをもう一度教えていただけますか。申しわけございません。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 もちろん私の提案したそのことも含めてでございます。この間の一般質問では市長は、長井市は無理だと、お金がないというような、お金がないというか無理だということは、そういうことだと思いますけども、そういうようなご答弁だったんじゃないでしょうか、いかがでしょうか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 一般質問で私がお答えしたのは、お金がないから無理だということではなくて、特老を特に経営できる社会福祉法人というのは極めて公共性の高い、しっかりとした社会福祉法人でないと特老は運営できませんので、必ずしも地方自治体が直営ですることっていうことは今の時代、必要ないんじゃないでしょうかという話をしたんです。

直営でやっているとところはゼロではございませんが、一部僻地であったり特殊な事情のあるところは市町村が直営で行っておりますが、長井

市の場合はそういった実態ではないので、市で直営ではなくて、この次の3年ごとの介護保険の事業計画に基づいて行っておりますので、今やりたいから今すぐやるってということではないんですね。これはご存じだと思います、今泉委員も制度的なものはね。これは長井市で計画を立てて、県あるいは国の全体的な計画の中に組み込まれるわけですから、変更するなら変更するののしっかりとした理由が必要ですし、変更しますと当然、介護保険料も上がりますので、したがって、まず、第5期の介護保険事業計画はことしスタートでありますので、26年度まではその方向で行きたいと。

ただし、例えば小規模多機能居宅施設あら町ケアハウス、ケアホームですね、ああいったところなども新たにこの5月に開設されたわけですね。これは第5期の介護保険の基本計画を策定するときにアンケートをとりました。そうしましたところ、約2分の1の方が特老とかそういう施設に入るのではなくて、できるだけ自宅で介護を必要だとしても、そこで老後を送りたいというご希望があったということを重ねて、やっぱりより介護予防と同時に、住宅の近くにそういう施設があると通えるわけですので、できるだけ離れてないところにもということでもちなかにつくっていただいたんですけども、そんなことなどもしながらやってきたいと思っております。

なお、市で直営するということは結局、今、介護保険、失礼しました特老で必要とされる、さまざまなホームヘルパーさんの資格等々の資格持ってる方あるいは看護師等々、医師等の手当も必要なわけですね。そういったものを市でまた新たに募集するっていうのは、非常に民業も圧迫するわけですし、実質的に集まるかどうか分かりません。そう簡単にはいかないと思っております。ですから今は市でするのではなくて、やっぱり社会福祉法人などで非常に状況を把握し

ていただいて、それだったら、やることも検討するという法人なども複数ございますので、この次の第6期でそういったことを検討してまいりたいと。

そうしますと、今泉委員がおっしゃるように市民のそういったご要望にもある程度、ある程度ね、やっぱりゼロにはなかなかすぐにはならないかもしれないですけども、ある程度おこたえしながら、同時に雇用もある程度また確保できるということで考えていかなきゃいけないと思っております。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 なかなか待機者の解消というところでは、具体的な対策というのは結局ないわけですね。ですから今、市長もおっしゃったようにあら町の施設ですね、あそこ、うちのすぐ近くですから毎日通って、見ますけども、本当に地元、近くでと、それからアンケートでも自宅で老後を送りたいという方がいらっしやると。やっぱりご本人は自宅にいたいと、家族と一緒にいたいというのが本当の願いだと思います。でも、家族は大変なんですよ。本当に24時間介護するということは大変なものですから、そういうあら町のケアセンターのようなものもたくさんできれば、もっともっと皆さんの自宅介護の方とか、そういう待機者の方も少しは苦労も緩和できるんでないかなと思っております。

市長の話ですと、第6期計画でそういうことも含めてとおっしゃっておりますが、重ねて私はその待機者の解消ということを強く要望したいと思っております。どんな方法が、どうしたらその待機者の希望に沿えるかということも、今後またいろんなところで市長とお話しさせていただきたいと思っております。とにかくこの待機者を解消してあげたいという大きな私の思いがあります。

そこでです。ちょっと時間もあれですので、雇用ということで、市長は観光で雇用というこ

とを何回もおっしゃっております。先ほどの江口議員の質問にもありましたが、私もこの観光、地域活性化基盤整備推進計画調査というものをやっとな最近、私の手元にも届き、拝見いたしました。私は、これは市長のお考えで市で作成したものだとはっきり思って、きょうまでおりましたけども、先ほどの話ですと、コンサルにお願いしてつくったのだということでございました。この中身を見ますと、壮大な長井市の観光計画が描かれております。そして長井市の歴史なんかに触れたり、観光客の数なども書かれてあり、細かく明確に記されております。ですから私、きょう、このような計画があるのであれば、このたびの予算に計上されております経済波及効果業務委託とか設計業務委託料というのは、これでも十分、私たちが検討できるものではないかなということをお願いしたいと思ってきたところでしたけども、江口議員の質問の中にもありまして、これでは、まだ経済波及効果やなんかで不十分だというようなことも市長おっしゃっていました。でも、私はこれで十分、皆さんと検討できるのではないかなと考えております。

それで、市長が観光交流拠点施設基本計画ということで計画なされておりますが、この中で雇用というものは大体どのぐらい見込んでおられますか。ちょっとお聞きします。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 これはきちんとした裏づけのない数字を出しても余り、委員に対しても根拠のある答えを出せませんので、今の段階では数字というのは難しいと思いますが、まず考えられることとして、かわと道の駅ということだけではなくてかわと道の駅、それに附帯する別事業で考えなきゃいけないと思いますが、農家レストランとか、そういった飲食関係の近くのお店、また加工であったり、食品加工ですね、そういった部分、それから当然、直売所の直接雇用あ

るいは物産館のほうの雇用ということももちろんあると思いますが、同時に花公園のほうでの雇用はもちろんまた別にあるわけですね。

そこで、いらした方のまちなかに出ていっての経済波及効果、ここからやはりある程度の雇用を勘案するしかないんだらうというふうに思っていますし、ただ、都市再生整備計画というのは、先ほどから申し上げておりますように観光振興計画と、それから本町の街路事業の計画、事業進んでいるわけですね。それから今度は駅前通りの街路事業、それと都市再生整備計画全体がマッチして中心市街地活性化することによっての経済波及効果と雇用というふうに考えておりますので、当然、数十人単位ではなくて数百人、1,000人単位の雇用を目指すべきものだというふうに思っております。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 直接の雇用ということでは、まだ具体的には市長はわからないというようなお答えでしたけども、これがまちなか活性化につながり、数百人という雇用というか、波及効果があるというようなお話を今なされたんですね。して、花公園なんかもありますからとおっしゃいました。私、観光というので、長井市にはつつじからあやめから、もちろん黒獅子とかそういうイベントもあり、夏の水まつりなどもありますけども、まず本当に花公園できたらいいだろうなあ、行ってみたいなあとか、最上川河川敷緑地公園できたらいいなと思うんですけど、やっぱりうちから歩いていくとなると結構大変なんですよね。毎日、ウォーキングしてる私でも、いや、あそこ行くかなあとか、河川敷行くかなあと考えたら、本当に観光客も河川敷緑地公園におりて、あそこ歩くのかなあとか、花公園、あそこまで車で行けば別でしょうけども、花公園を見て入場料も取るというようなお話でしたので、花公園も行くとなると入場料も取ると、観光客は別ですけども。やっ



ぱり長井市にはつつじ公園、あやめ公園、今あやめですから、きのう行きましたら、まだ本当にちょっと咲いてるだけでした。つつじ公園もありまして、つつじ公園、毎年うちの前ですから純白のつつじには心が本当にいやされる思いがします。

ですが、今ある公園も何か手入れが行き届かないというか、ことしの白つつじ、社務所の後ろ側ですね、西側というんでしょうか、公園の西側というんでしょうか、南側というんでしょうか、あそこが黒くなってるんですよ。去年もやっぱり豪雪だったものだから、雪で黒くなって雪のせいだという。何であんなふうになるんですかって聞いたら、雪のせいであいうふうになるんだということでした。去年もそうであり、ことしもすごい被害があったわけですよね、つつじに。でも、去年だめだったら、じゃあ、ことし、ちょっと手当てしようというようなあれはなかったんでしょうかね。市長もおっしゃるには、来年から公園長期寿命化というか、何かそういう計画があるとおっしゃってますけれども、病気なんていうのは今だめなんだから今手当てしてあげなければ、将来にわたって手がつけられないほど悪くなってしまいうんじゃないでしょうか。つつじもやっぱり生き物ですから、そういうことを含めて今ある公園も十分整備されてないんじゃないかなあと、そこにまた花公園ということで。いや、できたら本当いいと思います。ですが、それを整備できるのかなあと、すごく不安ですよ、せっかくのいいものが。

そしてフットパスなんかも私、できた当時、長井橋の下に車を置いてお弁当と水筒持って白川までずっと行きました。そして途中の飛び石とか木道とか歩いて、すばらしいできたところでしたから楽しみながら、そしてちょうど初夏でしたから田んぼも水が張って青々とした稲があって、最上川の水が見えたりして、とってもすばらしい環境でした。ですが、やっぱり何

かイベントでもない限り歩いてる人はいないんですよ。そして飛び石なんかでもごみがたまって、いやあ、ごみ拾ってあげたいなあと思いつながらも拾い切れないほどのたくさんのごみでした。そういう維持というか、管理というか、そういうものが今もできてないのに、さらにこれから手を広げるということで維持管理ができるのかなあと、そこまで心配します。市長はいかがですか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 つつじ公園については、昨年、一昨年と2年続きで大雪ということで、大変つつじもかわいそうだったわけですけども、これがやはり18年の大雪の際にもかなり雪やけいたしました。ですから、たまたま2年続きで大雪になったということで、近年はそういうサイクルに入ったのかもしれませんが、もう少し雪囲いの予算を十分確保しないと、だめなんではないかというふうに思っております。予算の関係もあるかと思えます。あとは雪囲いの仕方ということもありますので、この辺は今後、大雪でも大丈夫なような対策を講じていかなきゃいけないと思います。

また、ろくに管理もできないのに、また新しいものをつくってもしようがないのではないかというお話でございますが、ごもっともでございますけれども、フットパスにつきましては、もともと市民の皆様からも管理をお願いしながら進めていこうと。ただ、やはり市民の皆様のボランティアも含めて整備をされるので、やっぱり市民みんなで使うんだということでご協力いただくしかないんだと思います。市が毎日そこをきれいに整備するなんていうことは、どんなものでも不可能だと思います。ですから、そういった意味で市民の皆様からいろいろご協力いただいて、また、さまざまな団体に例えば受託をしていただければ、そういったこともお願いしながらやっていかなきゃいけない

と思います。

あと、花公園とか新たなものにつきましては、ちょっと今までの公園の考え方と違っておまして、それなどについて、ここで話すにはちょっと時間が足りないのかなというふうには思いますが、少なくともあやめ、つつじのように期間限定ではなくて、それ以外にもいろんな意味で外から来る人にお金を払って見ていただいても価値のあるようなものとして、同時にフラワー長井線をうまく存続させる一つの大きな資源として活用していきたいということもございまして、それらについては、ぜひこのたびの都市再生整備計画の全体像の中で詳しく皆様にも、ある程度ご理解いただけるような報告書等を準備させていただいて、その中でご議論いただければ大変ありがたいなと思ってます。

ちょっと、きょうは口頭だけですので、なかなかわかりにくいと思いますが、一つ言えることは去年、もうおとしからですけども、日本ガーデナーズ協会の玉崎先生に、NHKの「趣味の園芸」で大変活躍されてる先生ですけども、長井市にかかわりを持っていただいて、ことしも5月に駅前の花ガーデンということで女性の方、30名ぐらい参加されて、していただいておりますが、そういったことをまたこの7月にもする予定でおまして、そういった中で中央地区女性の会や商工会議所の女性会、あと花と緑の会でしたっけ、そういう方々の人たちが中心となって一生懸命そういう技術なども習得いただいておりますので、花公園などについては、できれば、そういった市民の皆様のボランティア団体に委託するような格好で、ある程度お願いできないかなあと、今の段階で考えているところがございます。以上です。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 やっぱり市民のボランティアを含め、市が毎日できないというようなことをおっしゃってますけども、公園管理、予算

の関係もあるとおっしゃいましたので、しっかりと予算もつけていただいて、せっかく県内外からたくさんの方がいらっしゃるわけですから、目いっぱいのおもてなしができるような公園づくりをしていただきたいなと思います。商工会議所の女性部とか中央地区女性の会の方とおっしゃいますけども、ボランティアはやっぱりあくまでもボランティアなんです。主としてそこを整備するという市の持ち物ですから、市が、市の職員があそこへ行けとは申しません。しっかりと予算をつけていただいて、やっぱり自分たちの公園だという自負を持って、しっかりと整備していただきたいなと、そこへボランティアの方々がお手伝いするというのではないんでしょうか。最初からボランティアというのでは、うまくいかないんじゃないかなということですよ。

そして、私は観光、この花公園もそうですが、やっぱり今の状態で観光に過大に頼り過ぎては失敗というか、手薄のところが出るんじゃないかなと思います。ですから、今あるものをしっかりして、それじゃ、次はこうだよというものを示しただければ、皆さんも納得するんじゃないかなと思います。ですから、この観光交流拠点施設の計画なんかも、何年か前のいろんな建物のあれのように市民に大きな負担を残すのではないかなと私はすごく懸念するところです。本当に保証するのは市民であって、事業をした場合に保証人していますよね、金融機関から借りた場合に保証人しています。もうこの長井市の場合は、今までその保証人の市民の方々が大変苦勞なさって、今まで我慢なさって、今まで来たんではないかなあとと思います。ですから市民の方に大きな負担を残すようなことはないように、しっかりとこの観光交流基本計画というものを時間をかけて、しっかりと検討していただきたいなあと私は思います。あんまり早く出発し過ぎてしまって、今でないとおっしゃいますけども、今でなくても、いつでもでき

るんです。ですから、しっかりとここは皆さんで検討していただいて、進んでいかなければならないんじゃないかなと思います。

じゃ、もう一つ質問が残っていますので、次に参ります。

大きな2点目に行きます。市税をどう解決するかということで、一般質問でも私は相談収納ということをお願いしました。そして今、職員で頑張っている。確かに頑張ってお仕事ですからしてらっしゃると思います。それは重々承知です。しかし、この市税の滞納額というのは合計で4億5,500万円ということになってますよね、ありますよね。この4億5,500万円というのは、どういうふうに解決なさるんですか。あと、新たな解決策はあるんでしょうかというところをお聞きします。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 近年、ここ3年ぐらいですけども、市民の皆様からいろいろご理解をいただきながら、あと担当の税務課のほうでも、まず市民の皆様とじっくり話し合いしながら、おかげまで収納率のほうは上がっております。これ、一気に解決するっていうことはもちろんできないわけでありまして、地道な努力の末にこれは少しずつ減らしていくものと、そして納税をお願いしていくものというふうに思っておりますので、何か解決策をということではないというふうに思っています。

それから今、納税相談室、相談員みたいな人を配置するというご提案いただきましたけども、それは長井市の規模ではちょっと無理です。多分なかなか相談する人を置いても効果が余り上がらないだろうというふうに担当課はじめ、いろんなところと検討して考えているところがございますので、まずは地道をお願いをしながら少しでも滞納額を減らしていくという努力が大切だと思っております。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 地道にということは今までどおりのやり方というようなことでよろしいんですね。差し押さえが、この間も申しましたけど、大体30件から80件、毎月あるということで合計674件の差し押さえで、差し押さえた金額は3,200万円、これを件数で割りますと、大体平均4万7,500円という金額なんですね。差し押さえた674件の、人によっては1万円とか、その上の方もいろいろでしょうけど、平均4万7,500円という計算になります。このぐらいの金額であれば、何も差し押さえはすることなく、相談収納で十分できるんじゃないかなあと、相談収納をすれば、市民に納税を喚起させることができるんじゃないでしょうか。次年度に向かっても、そういうことが必要ではないんでしょうか。いかがですか、市長。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 相談納税というのを今泉委員はどういうふうに考えていらっしゃるかですが、相談してくださいっていうふうに連絡しても、ナシのつぶてなんです。ですから、仕方なくて差し押さえするのであって、ご本人が相談をして、じゃあ、こういうふうにしましょうと、今ちょっと待ってくださいということであれば、差し押さえはないわけですから、ちょっとおっしゃってる内容が少し違うと思います。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 相談しますから来てくださいとおっしゃいますけども、税金を払ってない方が相談しますから来てくださいと言っても、市役所にはなかなか来られません。ですから私は、相談員という方が専門に、あくまでも取り立てではなくて相談に乗ると、その方の事情をよく把握して減免や分納ができるかとか、そういう相談に、こちらからお伺いして相談に乗ることが大切なんではないかなと、来てくださいと。それは私も相談されれば、役所へ行くのと相談できますよと、うん、そういうふう

お話しします。市長も連れてきてくださいよとおっしゃいました。確かにそういう相談もあれば、ご一緒しますし。

ですけども、来てくださいでは、なかなか来ません。本当に払いたくても、税金は払わなくちゃと皆さん思ってます。ですけども、払いたくても払えないと、生活のほうが大それたこと、税金は後になってしまうと、そういうような状態の方がたくさんいらっしゃると思います。そういう状態をお聞きするためにもお伺いして、相談員という方が状況を把握する、そして納税を促進していただくということをお願いしてるわけですから。よろしいですか、市長。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 私は何も職員が、例えば自宅に来てください、あるいは会社の近くのどこどこで何時ごろって言えば何うはずです。こちらから行きませんなんて言ってませんし、それから行ったら必ず取り立てでお金をよこさなきゃいけないよなんて、そんなことはないはずですよ。ですから今泉委員に、ここはどういうふうにそういう方を思っただけでいらっしゃるのか、具体的に聞いていらっしゃるかどうか分かりませんが、多分に誤解がありますし、あと、ある程度、何回か催促を受けて無視しますと、行きたくないってのはわかります。でも、それをやっぱり放置しているってことは、残念ながらご本人も悪いところがあるわけですね。ですから、そこは来てくださるか何か連絡していただければ行けるわけですね。そう人が、じゃ、相談員がいるから相談員だったら話すんだってことはないと、私は余り効果がないというふうに思うんです。本当に困っていらっしゃるんですしたら、例えば市民相談センター、これは税務のほうと全く別な職員ですし、あるいは弁護士とか司法書士……。

○安部 隆委員長 時間ですので、簡潔にお願いします。

○内谷重治市長 などの相談面もありますし、ぜひそういったところでご指導いただければと思います。

○4番 今泉春江委員 いいですか。時間になりましたので、終わりますけども、まず最後に一言、言えませんか。

○安部 隆委員長 終わりです。

○4番 今泉春江委員 はい、済みません。じゃ、終わります。

### 我妻 昇委員の総括質疑

○安部 隆委員長 次に、順位6番、議席番号7番、我妻 昇委員。

○7番 我妻 昇委員 よろしくお願ひいたします。あしたということで想定をしておきまして、頭の中がまだまとめ切れてない状態でございます。でも、まずしっかりと議論を進めていきたいというふうに思っております。市長も大分お疲れのようで、ささやき声のような声を、かみ殺すような声をされて、何かお疲れなのかなと、それとも沸騰しないように我慢していらっしゃるのかなと、その辺は、ぜひ正面から議論をしていただきたいというふうに思ったところでございました。

まず最初は、ふるさと交流定住事業についてということで、今回初めてでないかなというふうに思います。過去にもあったとすれば、ちょっと認識違いかもしれませんが、これまでは例えば財政状況やいろんな環境が整わなかったということで取り組めなかった定住事業ではないかなというふうに思っております。ようやく最初の一步を踏み出すことができるようになったという状況ではないでしょうか。しかし、これは説明によりますと、財団法人地域活性化センターの補助金ということで159万円ですよ、